

木造家屋建築工事における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
5	16～ 17	外構工事用の資材を置場で準備していた時、ブロック（一片約幅390×奥行150×高さ190mm、重さ15kg）やセメント袋（一袋約幅340×奥行470×高さ110mm、重さ25kg）をトラックに積み込むため、床置きセメント袋を中腰で持ち上げて運んでいた時、三袋目あたりで違和感を感じ、六袋目位で痛みを感じた。	64～ 9	1～ 9
6	9～ 10	被災者は、戸建て現場で断熱材を1階より3階へ階段で荷揚げ作業をしていた。4回目の作業中、腰に違和感を感じ、班長に報告して早退した。2週間ほど様子をみたが、痛みがひかないので病院に行ったところ、腰椎捻挫との判定であった。	23～ 9	1～ 9
6	11～ 12	個人宅外壁・屋根改修工事現場にて発生した。足場を解体し、クランプ（足場資材）を袋詰めしたものをトラックに積み込む際、持ち上げた時に腰を痛めた。	34～ 9	1～ 9
6	8～9	個人宅2階壁改装工事において、工事完了後のタンスを移動する際、部屋の中にある階段から右足が落ちて、落下寸前のところを両腕で支えたため落下はしなかったが、左足に肉離れを起こした。	72～ 29	10～ 29
7	14～15	木造一般住宅（2階建て）建設工事現場で、人力にて2Fの床パネル（865mm×5005mm、249kg）を上階へ荷上げ作業中（荷上げ7名、荷受け4名）上げきれず、体制を整えるため、荷を下ろす際に後方の壁と荷の間に指を挟み、再度動かしたため、指を裂傷した。ベトナム、実習生	18～ 49	30～ 49
7	15～16	駐車場でのローラーの後片付け作業中、一斗缶の上でローラーを皮スキで塗料をしごく作業中にローラーがとれて、いきおいよく一斗缶の鋭利なところへ指があたり指をケガしてしまった。	41～ 9	1～ 9

7	8～9	元請現場での地震復旧工事で、上部と下部がはめこみ式の本棚の居座り具合が悪かったので、一人で本棚の下にベニア板を入れて調整しようとした。屈んだ状態で本棚の下部を持ち上げたときに、上部が外れて自分の頭の上に落ちて、一瞬、頭がボーっとなってしまった。そのとき腰や背中が痛くて、その場にうずくまってしまい、痛みのため、そのまましばらく動けなくなった。	62	1 ～ 9
10	16～ 17	事務所隣にある応接室に置いてあるダンボール箱に躓いて転び、その時に肘を打つ。	61	30 ～ 49
12	10～11	戸建て住宅改修工事において、事業場倉庫にて材料の準備をしている時、高さ約2mの所に置いてある幅木を取るため脚立（高さ約70cm）に乗って引き出そうとした時、誤ってバランスを崩し転落した。その際、右手を地面についた拍子に骨折してしまった。	54	1 ～ 9

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html